

## 明けまして おめでとうございます！



【みあさま】  
クリスマスの赤い帽子を  
被って楽しそうですね！

突然ですがみなさん！『みあさま』が誕生しました！

12月のクリスマスが近づいて来た頃、都跡こども園にお邪魔する機会がありました。2階のリズム室に入ると、大きな大きな仏さまがいらっしゃいました。それが『みあさま』です。令和2年のこども園のみなさんの遠足は、新型コロナウイルスの影響で遠くへ出かけていくことができませんでした。

そこで5歳児さんは、歩いて唐招提寺や薬師寺に行ったそうです。お寺では、お坊さんに案内してもらい、仏さまをはじめたくさんのお話を聞いて帰ったそうです。その聞いてきたお話をもとに、みあさまは、生み出されたのです。

仏さまと同じように、頭には螺髪(らまつ)、額には白毫(びやくごう)もあります。右手は施無畏印(せむいいん)、「だいじょうぶ！」というOKの形をしています。左手には、「みんながコロナにかからないように」とマスクを持っています。何とも言えない優しい表情のみあさまは、都跡のみんなを守ってくれる神さまだそうです。なんと素晴らしいことでしょうか！お付きの人もいます。どの方もみんなを守る『守り人』だそうです。

子どもたちはみんな、みあさまが大好き！そしてまたみあさまも、子どもたちのことが大好き！みあさまと子どもたちを見ていると、私も温かい光に包まれ、とても明るい気持ちになりました。

令和3年が始まりました。新型コロナウイルス終息は、まだまだ遠い道のりのようですが、季節は確実に春が近づいています。公民館には水仙の花が咲いています。なにより、『みあさま』が見守ってくださっています。みんなでよい年にしていきましょう！ (都跡公民館館長 大谷華代子)

## 講座案内

★感染予防対策を講じた上で開催します。

また感染拡大状況によっては、中止・延期になる場合があります。

## 夜の学び～世にも奇妙な★日本霊異記～

『日本霊異記』は、薬師寺の僧 景戒(きょうかい)がまとめた、日本最古の仏教説話集です。そのなかには、奈良・平安時代の人びとが「悔過(けか)」をよく行っていたことが記されています。

では「悔過」とは何なのでしょう？

薬師寺の修二会花会式や、東大寺二月堂の修二会お水取りにも通じる「悔過の世界」をひもときます。

令和3年 2月19日(金) 18時30分～20時

- 講師 薬師寺本坊主事 唯識学寮研究員 高次喜勝さん
- 会場 都跡公民館 2階大会議室
- 対象・定員 18歳以上 35人 ※在学・在勤可
- しめきり 2月2日必着 ※申込多数の場合抽選



昨年秋、豎義を修行された高次喜勝さん

申込方法

①奈良市生涯学習財団ホームページ <http://manabunara.jp> より参加申込フォーム

②往復はがきに講座名「夜の学び～日本霊異記～」、住所、氏名、年齢、電話番号を記載の上、都跡公民館〔〒630-8032 奈良市五条町 204-1〕まで郵送。

その他、FAX可〔FAX34-5954〕(FAX受信可能な方)。窓口でのお申込みの際は、はがき(63円)をお持ちください。



奈良市生涯学習支援サイト <http://manabunara.jp>

「公民館だよりバックナンバー」など都跡公民館のページを見てね！

裏面に続く

# 「大廻り」都跡の宝



## 『薬師寺寺内・寺外鎮守社十三社を めぐりますか?』

都跡地区南部には、西ノ京、五条、六条、七条の在所があり、それぞれにその区域を守護するために鎮守社が祀られています。

その一つ西ノ京の『養天満宮』は、薬師寺與樂門から唐招提寺に向かう途中の路地を西に入り、近鉄樫原線の踏切を渡ったところにあります。境内入り口の「養天満宮」の石碑の裏には、「養天満宮社は、薬師寺平城京移建時の寺域乾方に当り、右京五条二坊ノ一に存し、寺域守護十九明神寺内・寺外・十三社の一社であり、延喜式にも記載されている」とあります。

寺内・寺外十三社は次の通りです。

- 【寺内（じない）】（薬師寺境内の六社）
- 一、弁財天
- 二、平木明神社
- 三、孫太郎稻荷神社
- 四、龍王社
- 五、休ヶ岡八幡宮
- 六、若宮社
- 【寺外（じげ）】（薬師寺境外の七社）
- 一、西波天満宮（六条・観音寺北側）
- 二、野々宮天満宮（六条）
- 三、天武社（七条・東養護学校近く）
- 四、天満神社（七条）
- 五、階天満宮（西ノ京・観音寺池東側）
- 六、福天満宮（六条）
- 七、養天満宮（西ノ京・五条）



続いて石碑には、堅義加行のゆづぎ（ぎよつぎ）の「大廻り」のことが記されています。

堅義とは、法相宗の宗祖・慈恩大師の忌日、十一月十三日に営まれる慈恩会の夜に行われる法相宗の僧侶の登竜門といふべき口頭試問のことです。堅義加行は、堅義に臨む者（堅者（りつしゃ）が、堅義直前の二十一日間、無言、不臥（ふが）の行をしながら試験勉強することです。加行中堅者は、一と六のつく日に境内、境外鎮守社十三社、十二堂の約6kmを巡ります。そのことを「大廻り」と言い、寺外七社も、薬師寺と深くつながっていることが窺えます。

令和二年秋、三年ぶりに堅者が立ち、鎮守社を巡る逞しい僧侶の姿がありました。その姿に、未来を感じ、有り難く感じました。佐脇・大谷



◆図書紹介◆ ※公民館図書室の本です。

### 「十二支のはじまり」

(文/谷 真介 絵/赤坂三好 出版/佼成出版社)

今年の干支は、丑（うし）ですね。ところで、ねずみ・うし・とら・うさぎ・たつ…と続く十二支の順番。どうして「うし」は、1番ではなかったのでしょうか？

干支の話は諸説あります。他の本と読み比べてみるのも楽しいですよ！

**都跡で望む山焼き 1/23 14時～15時30分**

**民俗文化講演会「火と疫病」**

※定員 35人 ・ 申込締切日 1月8日必着

◇公民館 1月の行事予定◇

※感染症の発生、拡大状況によっては、中止・延期になる場合があります。

14日	みあと高齢者学級⑥	
16日	なかよし文庫 10:00～15:30	
	都跡健康体操 10:15～11:15※人数制限有	
19日	みあと女性フォーラム④	
20日	みあと子育てサロン♪にここ広場♪	
	10:00～12:00 ※申込不要、人数制限有	
	移動図書館 14:00～14:45	
23日	都跡で望む山焼き ※18時～19時鑑賞会	
26日	みあと子育てサロン★ほのぼの★	
	10:00～12:00 ※申込不要、人数制限有	
31日	みあときつずチャレンジ隊⑤	
	※年始の開館は、1月6日(水)からです。	

◇休館日のご案内◇ 年末年始の 12/27(日)～1/5(火)は、休館日となり、門が閉まっています。ペットボトル・空き缶・発泡トレイのリサイクルごみの持ち込みはできません。くれぐれもご注意ください。ご協力お願いいたします。

※公民館にお越しの際は、検温(37.5度以下)および体調チェックの上、マスクを着用し、上靴、水分補給用飲み物持参でお願いします。体調がすぐれない場合のご来館はご遠慮ください。